

# 人の行動と心理の科学

(Psychology and Behavioral Sciences)

## 【責任者/担当者】

〔心理学〕室井 みや 教授

## 【目的】

心理学を学ぶことで、偏見や思い込みにとらわれず、人の心、行動をより適切に理解することを目指す。また、心に関わる様々な疾患と治療の方法への理解を深める。この授業を通して、人への理解を深め、医療における心理学の利用について考える。

## 【科目キーワード】

「知覚(perception)」「記憶(memory)」「性格(personality)」「知能(intelligence)」「学習(learning)」「感情(emotion)」「動機づけ(motivation)」「ストレス(stress)」「発達(development)」「印象形成(impression formation)」「コミュニケーション(communication)」「患者の心理(patient's psychology)」

## 【到達目標(アウトカム)】

- 心理学とは何か説明できる。
- 心理学の基本的なことばについて説明できる。
- 心に関する障害、疾患について説明できる。
- 基本的な心理療法について説明できる。
- 基本的な心理検査について説明できる。
- 医療における心理学の役割について説明できる。

## 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・文化的・社会的な知識を有している。
- ・医療の持つ社会的側面の重要性を理解している。
- ・健康な社会づくりを理解している。
- ・人生の最終段階における医療を理解している。
- ・他者を理解し、互いの立場を尊重できる。
- ・他者の立場を考えて接することができる。
- ・様々な病気や障がいを知っている。
- ・患者の苦痛を知っている。
- ・医学研究を知っている。
- ・同級生と教え合う態度を養成できる。
- ・検査や基本的手技を知っている。

**【概要ならびに履修方法】**

テーマごとに講義を行う。資料はパワーポイントで提示するが、各自、自分の言葉でわかるようにメモを取り、講義終了後、できるだけ早く復習しておくこと。

**【準備学修ならびに事後学修に要する時間】**

準備学習は必要ではないが、講義終了後の復習に 30 分程度必要である。

**【成績の評価方法・基準】**

成績は、試験結果 95%、出席状況、授業内の提出物の内容 5%により評価し、その成績が 65 点に満たない場合は、再試験の対象となる。

**【学生への助言】**

授業期間が 5～10 月と長期にわたるため、内容を忘れないように、毎回、授業終了後に早めに復習しておくこと。

**【フィードバック方針】**

試験についての解説講義を行う。

**【オフィスアワー】**

月～金曜日:11:40～12:40

**【受講のルール、注意事項、その他】**

特になし

**【教科書】**

特になし

**【参考書】**

「ヒルガードの心理学(第 16 版)」スーザン・ノーレン・ホークセマ、他 編著 内田一成 監訳  
(金剛出版)2015 年

**【連絡先】**

教育研究棟 5 階 心理学 教員室